

身体的拘束最小化の取り組み



JCHO 可児とうのう病院

可児とうのう病院では、患者さんの尊厳と権利を守り、医療・看護の提供に努めております。

身体拘束は、身体や心に負担を与え、回復や生活の質に影響する恐れがあります。そのため当院では、身体拘束は緊急かつやむを得ない場合を除いて行わず、最小限に努めます。

基本的な考え方

1. 尊厳を守るケア

患者さん一人ひとりの思いや状況を大切にします

2. 安全との両立

事故防止や治療継続の必要性を十分に検討し、ほかの方法を優先します

3. 多職種で検討

医師、看護師、関係職種が連携し、必要性を慎重に判断します

4. 早期解除を目指す

実施した場合も、状況を継続的に見直し、できるだけ早い解除に努めます

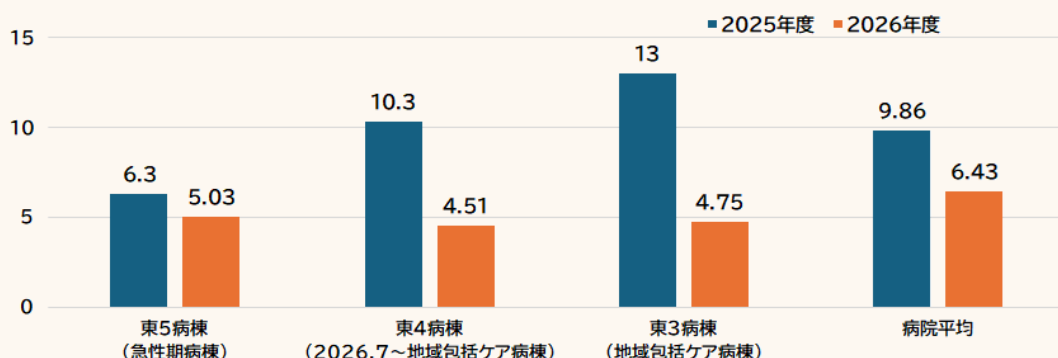
5. ご家族と共有

必要時はご本人やご家族に説明し、理解を得られるよう努めます

取り組み内容

- 🌱 身体的拘束最小化チームを設置し定期的にラウンドし身体拘束実施状況を確認しています。
- 🌱 身体的拘束最小化に向けた委員会を3か月に1回実施しています。
- 🌱 毎日複数の職員で代替案を含め身体拘束が必要な状況か具体的な取り組みを検討しています。
- 🌱 入院患者さんに関わる全ての職員を対象に、患者さんの尊厳の保持や身体的拘束最小化に関する研修を年2回以上実施しています

身体拘束実施状況 (直近3ヶ月)



可児とうのう病院公式キャラクター
「かにのくん」